

尾鷲市農業委員会 令和6年6月定例会 議事録

1. 開催日時：令和6年6月5日（水）午前10時00分から午前10時40分

2. 開催場所：尾鷲市立中央公民館1階小会議室（円卓）

3. 出席委員（8名）

会長	6番 高村 敦夫
委員	1番 船津 貫一
	2番 野田 泰史
	3番 黒 次美
	4番 塩津 史子
	5番 庄司 和穏
	7番 野地 長生
	8番 大川 治夫

農地利用最適化推進委員
北村 都志雄
濱野 薫久

4. 欠席委員

5. 議事日程

1. その他

6. 農業委員会事務局職員

事務局長 芝山 有朋
事務局次長 野田 憲市
事務局書記 川村 星太

7. 会議の概要

議長 定刻となりましたので6月の農業委員会を始めますのでよろしくお願ひします。

事務局長 おはようございます。事務局の方から報告させていただきます。昨日、農業委員会の議会の同意の議案が新たにあっていただく3名も含め、皆様全会一致で同意していただきましたので、その他の事項のところで20日の総会の案内もさせていただきますのでよろしくお願いします。

議長 ありがとうございます。それでは議題に入りたいと思います。本日の署名委員さんを指名させていただきます。○番の○○さん、○番の○○さん、よろしくお願いします。それでは審議案件はございませんので、その他の事項に入りたいと思います。まず事務局の方から説明をお願いします。

事務局 それでは皆様よろしくお願いします。その他の案件ということでまず1つ目です。農地バンクの登録申請がありましたので情報共有をさせていただきます。登録番号6と書いた資料になります。資料の3ページをご覧ください。申請者は千葉県の○○様という方です。千葉において畠の耕作するのは困難ということです。草刈はやっておられたのですが、農地バンクという制度があるので使ってもらう人に使ってもらいたいというご意向です。場所は○○。1ページに戻っていただきまして○○のちょうど上あたりになります。ジャングルみたいにはなってないんですけど草が生えてしまっている状況です。面積は483m²です。前回、○○委員から指摘があったように農地へアクセスが悪くて綿密に確認しました。農地の状況なのですが、無道路であり農地を通る際は私有地を通る必要があるため、近隣の方との事前相談が必要になります。

あと、日当りや水はけは問題ないのですが、水利がない状態ですので何らかの水がめを置く必要があります。事前にこういった事情を理解した上でお借りいただけたらと思います。条件の良い畠ばかりではないので難しい部分もあると思いますが、理解した上で使っていただける方がいたらありがたいことですので、よろしければこの内容で情報提供させていただきたいと思います。

続きまして、動物の話になります。資料は令和5年度尾鷲市業務委託報告ニホンザルテlemetry調査という冊子があります。こちらは令和4年度から尾鷲駅の方から街の中へサルの群れが入るという案件が多発して

いまして、国の補助金を受けましてサルの対策をしていこうということです。令和5年度から開始した事業でございます。基本的にはサルの群れごと捕獲していくという方針であります。大型の捕獲檻を置く前に尾鷲に群れがどこに生息していて何頭の群れなのか把握しないと効率が悪いということで群れの数を把握しておく必要があります。令和5年度は調査を専門家にお願いして行いました。結果を説明させていただきます。獣友会の皆様にサルの生け捕りを依頼しました。獣友会の皆様が頑張っていただいてメスを2匹捕獲することができました。なぜメスであると言いますと群れはメスを中心に移動するという理由からです。オスははぐれや独りで行動するということが分かっています。

図面のこの尾鷲A群というのが1番最初に捕れたメスザルです。このサルに発信機をつけて群れに返して行動調査したものでございます。赤い点が電波を受信していたところでございます。北浦からクチスボの方まで移動しているというのが見えてきました。専門家が言う遊動域というのが赤線で書いた枠になります。

次の6ページをお願いします。2番目に捕れたのが椿公園の近くで捕れました。群れに返しまして向井、行野方面かと思いましたが向井に一斉入ってこない個体でした。12ページが最終的な範囲です。赤が尾鷲のA群、2番目に捕れたB群、オスザルで有効的なデータにならなかった天満のC群とう調査結果でした。

続きまして群れに何匹いるかという調査で別冊の生息頭数調査という冊子があります。A群を調査してもらいました。専門家に3回調査やってもらいました。受信装置を持っておりますので、電波を追って調査していきます。1回目の調査が28頭、2回目が37頭、3回目が32頭で横にC、A書いてありますが、正確性を示しております。下の表はどういう群れの構成かというのを表しています。7歳以上オトナ、オスが1頭、メスが9頭の群れでした。ワカモノは4歳から6歳がオス1、メス1で若くなると性別が分からないみたいで不明が5頭です。コドモは10匹、1歳3歳が0、アカンボウ4匹という結果でした。出産率は44.4%と群れの半分くらいが産んでいるということです。連産率が1年に1回産む率で11.1%となっております。比較的多いということです。

以上のことから群れの属性が見えてきたので今年度、補助金が確定しておりますので大型捕獲檻を購入して置いていくと思います。檻の資料をご覧ください。最後の大きな写真になります。今購入を検討しているのが地獄檻という4mから5m四方の檻となっております。組み立て式になっておりますので山の中に入っていて組み立てて檻を置くことができます。写真を見ていただくと分かるように天井が空いています。入ることは

できますが出ることができないということです。だいたい37匹入るまで餌付けしてはしごを取り除いて出られないようにしていきます。置く場所ですが、特に出没が多い資料の点が多い所に置くのかは専門家と協議していきます。場所の選定と住民の皆様からご理解いただけるように努めています。

庄司委員

檻は購入ですか

事務局長

獣害対策協議という協議会でお金いただきて調査個体群のところに檻を設置していく予定です。群れ単位で駆除することができたら5年から10年単位で群れ単位の動きはなくなります。被害が減るようにできたらよいですね。

事務局

最後に令和6年度の総会についての打ち合わせをさせていただきたいと思います。議会の同意いただきまして、こちらが新しいメンバーです。長年農業委員やられていた〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんに感謝の意を表してお礼をさせていただきたいと思います。

あとですね、農地利用最適化推進委員の候補者についてです。20日の総会で皆様に選任していただくことになります。北村委員が農業委員になる代わりに相賀康史さんが農地利用最適化推進委員候補者になっております。20日にご審議いただいて選任するというものになっております。

総会は20日の9時から開始しますのでよろしくお願いします。

議長

その他の事項は以上でよろしいでしょうか。それではこれにて6月農業委員会を閉会いたします。

議事錄署名委員

議事錄署名委員